

令和2年度事業報告

I. 総務に関する事項

1. 会議

(1) 総会

第42回 通常総会

令和2年6月22日（月）午前11時00分から大津市梅林一丁目14番17号「滋賀県農業共済会館3階大会議室」において開催し、下記議案を付議、原案通り議決された。

第1号議案 令和元年度事業報告及び収支決算（案）について

第2号議案 令和2年度会費及び会費徴収（案）について

第3号議案 役員補欠選任（案）について

報告事項 令和元年度公益目的支出計画実施報告書について

臨時総会

令和2年7月9日（木）新型コロナウイルス感染予防対策のため、定款第33条（決議の省略）の方法により、下記議案を付議、原案通り議決された。

第1号議案 役員補欠選任（案）について

(2) 理事会

第1回理事会

令和2年6月22日（月）午前10時00分から大津市梅林一丁目14番17号「滋賀県農業共済会館3階大会議室」において開催し、総会付議事項及び公益目的支出計画実施報告書等について協議決定した。

第2回理事会

令和2年7月9日（木）書面表決にて、監事の補欠選定について協議決定した。

第3回理事会

令和3年3月15日（月）午後2時30分から大津市梅林一丁目14番17号「滋賀県農業共済会館3階大会議室」において開催し、令和2年度事業報告及び見込収支（案）並びに令和3年度事業計画及び収支予算（案）について協議決定した。

(3) 監事会

令和2年6月3日（水）午後2時00分から大津市梅林一丁目14番17号「滋賀県農業共済会館3階大会議室」において開催し、令和元年度事業実施状況及び予算執行状況について監査を受けた。

(4) 幹事会

第1回幹事会 令和2年6月16日(火)「滋賀県農業共済会館2階ミーティングルームA」において開催し、令和元年度事業報告及び収支決算(案)、令和2年度収支予算の補正(案)等について協議した。

第2回幹事会 令和3年2月22日(月)「滋賀県農業共済会館3階大会議室」において開催し、令和2年度事業の執行状況並びに令和3年度事業計画及び収支予算(案)について協議した。

(5) 滋賀県植物防疫協会の事業推進に関する検討会

第1回 令和2年8月20日(木)「滋賀県農業共済会館2階役員室」において開催し、植防協会の活動と財務状況について協議した。

第2回 令和2年9月29日(火)「滋賀県農業共済会館2階役員室」において開催し、共同防除事業に関する事項について協議した。

第3回 令和2年11月10日(火)「滋賀県農業共済会館2階役員室」において開催し、植物防疫事業に関する事項について協議した。

第4回 令和3年1月21日(木)「滋賀県農業共済会館2階役員室」において開催し、事業の見直しについて協議した。

第5回 令和3年2月18日(木)「滋賀県農業共済会館2階役員室」において開催し、事業推進に関する検討会の協議を取りまとめた。

2. 会 員

令和2年度末の会員数は44団体であった。

正 会 員 12団体(前年度12団体)

賛助会員 32団体(前年度32団体)

会費区分	収入決算額(円)
正 会 員	2,760,000
賛助会員	780,000
合計金額	3,540,000

II. 植物防疫推進事業に関する事項

1. 共同防除事業推進会議

(1) 共同防除事業推進会議並びに無人ヘリ防除安全運航対策会議

令和2年7月1日(水) J A全農しが野洲総合センター会議室において危被害防止・安全対策等について協議した。

2. 機関誌の発行、配布

「滋賀植物防疫」を発行し関係機関、団体等に配布した。

第66巻第1号（令和2年度事業計画、展示ほ、委託試験）

第66巻第2号（令和2年度共同防除事業実績、農薬展示ほ成績書等）

支出区分	支出決算額（円）	作成部数（部）	作成時期
1号	72,600	110	7月
2号	130,680	220	3月
合計金額	203,280	330	

3. 適正防除推進事業に関する事項

1. 農薬安全使用普及啓発

(1) 「滋賀県農作物病害虫雑草防除基準」を印刷して、市町病害虫防除協議会、賛助会員等に配布し、安全適正防除の推進を図った。

(2) 「令和2年度農薬危被害防止運動実施中」のポスターを印刷し、各関係機関へ配布した。

支出区分	支出決算額（円）	備考
防除基準印刷代	92,752	
ポスター印刷代	34,837	
合計金額	127,589	

2. 研修会の開催

(1) 有害鳥獣害防止技術情報交換会

令和2年11月6日、12日（水）東近江地域鳥獣被害対策協議会と共催し「獣害対策研修会」を日野町林業センターおよび愛東コミュニティセンターの2会場で開催した。

講演 「野生獣の生態と対策」 講師 東近江農産普及課

実習 「フェンス柵および電気柵の効果を高める維持・管理方法」

講師 農林水産省鳥獣被害対策アドバイザー 服部 義和氏

滋賀県獣被害対策アドバイザー 杉田 和人氏

有害鳥獣害防止技術情報交換会費用

支出区分	支出決算額（円）	備考
獣害用防護柵資材	65,580	
合計金額	65,580	

(2) 植物防疫研修会の開催

農薬に関する知識・理解を一層深め、安全かつ適正な農薬使用と効率的な病害虫防除に係る資質向上を目的とし、県病害虫防除所と共催して令和3年3月10日（水）滋賀県庁新館7階大会議室において開催した。

今回は、昨年のごく一部の地域にトビイロウンカによる坪枯れ症状が確認されたが、本年は県全域の中生・晩生品種において坪枯れ症状が散見された。

また、海外飛来性のコブノメイガの多発生など水稻害虫の生態や防除に関する対策について研修会を実施した。

研修内容

講演 「山口県における水稻害虫の生態と防除」（リモートによる研修）
～2020年のトビイロウンカとイネカメムシを主体に～

講師 山口県農林総合技術センター農業技術部
病害虫管理グループ総括 本田 善之 氏

報告 「滋賀県におけるトビイロウンカおよび坪枯れ症状の発生について」
滋賀県病害虫防除所 近藤 博次 氏

植物防疫研修会費用

支出区分	支出決算額（円）
講師謝礼	3,564
参加者飲料	3,444
合計金額	7,008

Ⅲ. 農薬委託試験及び展示ほ受託事業に関する事項

1. 委託試験事業

新しく開発された剤について、農薬登録に必要な試験成績を作成、検討評価し、優れた防除法の確立に貢献した。

- (1) 一般社団法人日本植物防疫協会から水稻、野菜、果樹、花き、茶等の殺菌・殺菌殺虫剤36剤を受託し、農業技術振興センターに委託実施した。
- (2) 公益財団法人日本植物調節剤研究協会から水稻・茶除草剤5剤を受託し、農業技術振興センターに委託実施した。

2. 農薬展示ほ事業（技術確認圃）

新しい農薬の実証展示、普及性の検討を行い、その結果を県防除基準への登載に向けた資料とした。

- (1) 公益財団法人日本植物調節剤研究協会並びに賛助会員から水稻・麦・大豆・野

薬の除草剤及び殺菌殺虫剤の効果確認の展示ほ25剤・36件を受託し、各地域農業農村振興事務所農産普及課等の協力を得て実施した。本年は、現場のニーズが高いドローンによる水稻除草剤の散布を2剤4個所で設置し、薬剤効果の確認を調査した。

区 分	収入決算額 (円)	支出決算額 (円)
日植防受託収入	5,797,000	県委託費 7,154,950 諸謝金 185,000
日植調受託収入	1,196,800	
展示ほ受託収入	1,584,000	
日植防助成金収入	115,940	
合計金額	8,693,740	7,339,950

(2) 水稻除草剤成績検討会 (7月30日)、殺菌・殺虫剤成績検討会 (11月27日) を開催し、実用性の高い薬剤については、「県農作物病虫害雑草防除基準」に登載されることとなった。

3. 農薬委託試験等事業運営委員会

令和3年3月24日(水)に農業技術振興センター会議室において、令和3年度農薬展示ほ設置運営等について協議した。

IV. 共同防除事業に関する事項

1. 無人ヘリコプター防除

(1) 無人ヘリコプター防除は、36実施団体等で19,078haが実施され、このうち24団体から委任を受け、水稻3,167ha、麦2,105ha、大豆690haと合わせ5,962ha(前年対比93.5%412ha減)を受託した。

() は前年度実績

作物	協会受託	受託割合	全 県
水 稻	3,167ha (3,460)	30.3%	10,442ha (10,542)
麦	2,105 (2,163)	37.6	5,593 (5,398)
大 豆	690 (751)	22.7	3,043 (3,219)
合 計	5,962 (6,374)	31.3	19,078 (19,159)

区 分	収入決算額 (円)	支出決算額 (円)
散布受託収入	108,217,560	
防除業者負担金収入	2,981,200	
実施団体負担金収入	596,240	
散布委託費		108,217,560
事務委託費		550,000
合 計 金 額	111,795,000	108,767,560

(2) 無人ヘリコプター防除安全運航推進会議の開催

- ① 令和2年7月1日(水) コロナウイルス感染予防対策のため、規模を縮小し委託防除関係者にて、無人ヘリ委託防除の安全対策並びにドローン委託防除意向調査について協議した。
- ② 令和2年10月30日(金) 委託防除関係者にて、令和2年度無人ヘリ委託防除の実績と課題、次年度に向けた無人ヘリ委託防除の取組み並びにドローン委託防除の散布業務について協議した。

(3) 第21回 無人ヘリ飛行技術競技会の開催

飛行技能の向上と安全啓発および会員相互の交流を図るため、滋賀県植物防疫協会と共催で開催予定の第21回 無人ヘリ飛行技術競技会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

なお、茨木県で開催予定の第29回全国産業用無人ヘリコプター飛行技術競技大会も新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

(4) 無人ヘリ防除に関する情報の収集と提供

【通 知】

- 5月18日 無人航空機の事前飛行情報入力方法の説明資料とDVDを各実施団体及び関係者に配布した。
- 6月8日 「令和2年度無人航空機による農薬等の空中散布における安全対策」を各実施団体・関係団体に通知。(農林水産省消費安全局)
- ・事前確認の徹底
 - ・操縦者と補助者との連携強化
 - ・無人マルチローター(ドローン)を用いた空中散布に係る安全対策の徹底
- 6月17日 令和2年度農薬危害防止運動啓発ポスターを関係機関へ配布した。
- 7月30日 「令和元年度蜜蜂被害軽減対策の推進について」

滋賀県農政水産部農業経営課長からの上記の軽減対策を各実施団体および関係機関へ通知した。

1月19日 「滋賀県における無人航空機による農薬の空中散布に係る安全ガイドラインの一部変更について」滋賀県農政水産部農業経営課長からの上記のガイドライン一部変更を、主にドローンを利用する実施団体・実施者および関係団体へ通知した。

変更箇所は次のとおり。

「ドローンを利用する農薬散布計画、実績および事故報告を滋賀県植物防疫協会を経由して滋賀県に報告する。」

【注意喚起】

4月24日 「安全フライト遵守事項の徹底」の注意喚起

令和2年4月23日に発生した無人ヘリの人身事故及び24日発生した有線放送有線切断に関わる事故に対し注意喚起を各実施団体および関係機関へ通知した。

7月21日 「安全対策の徹底を今一度確認してください」の注意喚起

令和2年7月21日に発生した建物への接触事故に関わる注意喚起を各実施団体および関係機関へ通知した。

8月6日 「事前確認時における危険箇所等の情報共有について」の注意喚起

県内で多発する無人ヘリコプター事故に対し、事前確認時における危険箇所等の把握をいっそう徹底するよう通知した。

【散布計画書の提出】

県内の無人ヘリコプターによる散布計画書（麦・水稻・大豆）をガイドラインの要項に基づき県を通じて農林水産省へ報告した（3月、7月、8月）。

【散布実績書の報告】

県内の無人ヘリコプターによる散布実績書（麦・水稻・大豆）をガイドラインの要項に基づき県を通じて農林水産省へ報告した（1月）。

【無人ヘリ使用周波数の混信による事故防止】

県内の無人ヘリ委託・自主防除散布計画一覧表」を麦・水稻・大豆別に作成し、散布前に各実施団体およびヘリ所有者並びに関係団体へFAX送付し、無人ヘリの使用周波数を散布者が確認し合い、混信による事故回避に努めた。

（麦 4月 水稻 8月 大豆9月）